



2023年11月7日(火)～12日(日) 新国立劇場小劇場

児童文学作家・新美南吉 生誕110年
29歳の若さでこの世を去った早逝の作家の最期の6年間
その3月に焦点をあてた、切なくも優しい物語

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 演劇研修所 演劇研修係 井上・柴田・上田

Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776 / Email: dramastudio@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 演劇研修所ウェブサイト

<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>



@nnt.dramastudio.tokyo



@nnt_dramastudio



新国立劇場

NNY
ドラマスタジオ

作品について

国語の教科書でも馴染み深い「ごんぎつね」や「手袋を買いに」をはじめ、今なお残る名作を生み出した童話作家・新美南吉。

新美南吉生誕 110 年記念の本年、その晩年を描いた戯曲に、新国立劇場演劇研修所第 17 期生 7 名が挑みます。

『君は即ち春を吸ひこんだのだ』は、昭和初期の愛知県を舞台に、29 歳の若さでこの世を去った新美南吉の最期の 6 年間で、6 度の 3 月の風景で描きます。

南吉と彼をとりまく人間模様から、日本人らしい心の機微を繊細に描き出したこの作品は、「日本の劇」戯曲賞 2014 [主催：(公社)日本劇団協議会]において最優秀賞を受賞しました。

2016 年の初演以来、7 年ぶりの上演となります。



新美南吉は、18 歳の若さで『ごんぎつね』を執筆し、雑誌『赤い鳥』で作品を発表する機会に恵まれた早熟の作家でした。幼い頃から文学と学問の才能を示しますが、生まれつきの身体の弱さから就職に恵まれず、24 歳のとき、やっとの思いで女学校の教師となります。

昼屋を営む、物静かだがどこかひょうきんな父と、口は悪いが愛情深い継母。

女だてらに外科医として大阪で開業を目指す、幼馴染のちゑ。

彼を慕う女生徒の初枝。理解者でもある友人の畑中。

ちゑの弟で、頼りなくも家族思いの文夫。

それぞれがそれぞれの思いを抱えて、南吉の暮らす離れを訪れます。

充実した日々の中で文学への情熱が高まり続けながらも、つきまとう病の影。

春を繰り返す度にその時はやがて近づき……。

南吉と周囲の人々が織りなす人間模様を軽妙でリズムカルな台詞で描いたのは、劇団温泉ドラゴン所属の原田ゆう。昨年文学座で初演され、岸田國士戯曲賞最終候補作品となった『文・分・異聞』でも注目を集める劇作家です。

演出を手掛けるのは田中麻衣子。昨年読売演劇大賞優秀作品賞を受賞した KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『ライカムで待っとく』の演出をはじめ、演劇からミュージカルまで幅広い作品を手掛けてきました。緻密な演出で、作品世界を丁寧に舞台上に立ち上げます。

登場人物たちの温かな眼差しが、他人へ向ける素朴な優しさをそっと思い出させます。

公演は 11 月 7 日(火)～12 日(日)まで、新国立劇場小劇場にて。

花の香りが漂う優しくも切ない世界を、若い役者たちの瑞々しい芝居でお贈りいたします。

あらすじ

1938 年(昭和 13 年)の 3 月、愛知県半田市。新美正八(南吉)は「ごんぎつね」などを世に出していたが、文筆業で生計は立てられず、やっとの思いで女学校の教職に就くことができた。幼いころから身体が弱い正八を心配する父や継母、幼馴染みや、教え子の女生徒……。正八の傍らにはいつも誰かがいたが、満たされぬ思いもあった。

文学への情熱が沸く一方で、正八の身体を静かに蝕んでいく病魔……。

1938 年から 1943 年、6 年分の 3 月を描いた物語。

スタッフ



作：原田ゆう（はらだ・ゆう）

劇作家

劇団温泉ドラゴン／イデビアン・クルー所属。

玉川大学、日本大学芸術学部大学院で演劇を学ぶ。在学中よりコンテンポラリーダンスの活動もはじめ、Nibroll やイデビアン・クルー等に出演。劇作家として、本作『君は即ち春を吸ひこんだのだ』が、「日本の劇」戯曲賞 2014 最優秀賞を受賞したほか、『見上げる魚と目が合うか？』で第 18 回劇作家協会新人戯曲賞を受賞。近年の上演作品に、劇団温泉ドラゴン『悼、灯、斉藤』、文学座アトリエの会『文、分、異聞』（第 67 回岸田國士戯曲賞最終候補）、『あいまいなしっそう』、他に『浮いていく背中に』（平成 27 年度北海道戯曲賞最終候補）、『私、洗濯機をさらいにくわ』（第 4 回せんだい短編戯曲賞最終候補）など。



演出：田中麻衣子（たなか・まいこ）

演出家

演出作品に『Shakespeare's R&J』『Ordinary Days』『ライカムで待っとく』『パレードを待ちながら』『A New Musical ゆびさきと恋々』『地熱』『どうぶつ会議』『胎内』『罪と罰』など。演劇研修所公演の演出作品に『燃ゆる暗闇にて』『七本の色鉛筆』朗読劇＋ダンス『オズマ隊長』日英演劇アカデミー国際交流公演『怪物／The Monster』『トミイのスカートからミシンがとびだした話』『ある階段の物語』『ロミオとジュリエット』『血の婚礼』朗読劇『ハーメルンの死の舞踏』。日本大学芸術学部演劇学科卒業。2014 年文化庁文化庁派遣新進芸術家制度でロンドンにて研修。現在、新国立劇場演劇研修所 3 年次学年担任。Théâtre MUIBO 主宰。

キャスト

新国立劇場演劇研修所 第 17 期生

			
飯田 桃子 いいた ももこ	小林 未来 こばやし みく	佐々木 優樹 ささき ゆうき	田崎 奏太 たさき そうた
			
立川 義幸 たてかわ よしゆき	根岸 美利 ねぎし みり	樋口 圭佑 ひぐち けいすけ	

公演概要

新国立劇場演劇研修所 第17期生公演『君は即ち春を吸ひこんだのだ』

作：原田ゆう
演出：田中麻衣子



2023年は新美南吉生誕110年

美術：伊藤雅子
照明：中川隆一
音楽：国広和毅
音響：工藤尚輝
衣裳：西原梨恵
方言指導：山本圭祐
演出助手：米山千陽（第16期修了）
舞台監督：瀬崎将孝

出演：新国立劇場演劇研修所 第17期生
飯田桃子 小林未来 佐々木優樹 田崎奏太 立川義幸 根岸美利 樋口圭佑

演劇研修所長：宮田慶子
主催・制作：新国立劇場

会場：新国立劇場小劇場
公演日程：2023年11月7日(火)～12日(日)

11月	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)	11日(土)	12日(日)
昼			13:00		13:00	13:00
夜	19:00	19:00		19:00		

チケット料金 (10%税込)

A席	B席	U25席	Z席(当日券)
3,850円	3,300円	1,650円	1,650円

一般発売：2023年9月10日(日) 10:00～**発売中!**

- *クラブ・ジ・アトレ会員ほか、各種割引はありません。
- *U25席は、ご観劇当日に25歳以下の方が対象です。Webボックスオフィスのみでのお取り扱いです(電話予約不可)。入場時、チケットと共にご年齢を確認できる証明書(コピー不可)をご提示ください。
- *就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

Z席の購入方法 Z席は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、公演当日朝11:00からボックスオフィス窓口でも販売いたします(電話予約不可)。

託児のご案内 11月11日(土)公演は、託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。(定員制/要予約/有料) *受付開始日：9月10日(日)～

【チケットのご予約・お問い合わせ】
新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999 (10:00～18:00)
新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

新国立劇場 演劇研修所について

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた、次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指して、2005年に設立されました。研修期間は3年間で、原則として週5日、午前10時～午後6時のレッスンを、年間を通して行っています。

1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣による基礎的な訓練およびシーンスタディを行い、3年次には修了に向けて数本の舞台実習公演を行います。

修了生は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演、映像作品への出演、声の吹替など、活躍の場を広げています。

本公演に出演する第17期生は、2021年4月に入所。コロナ禍により活動が制限された中でも、2年半の厳しい研鑽を積んでまいりました。3年次である今年度、朗読劇『ひめゆり』に続き、国立劇場にて令和5年8月特別企画公演「舞台芸術のあしたへー国立劇場6館研修修了者合同公演ー」にも出演し、舞台人としてさらなる成長を続けています。

本公演、そして2月の修了公演と、舞台での実践的な経験を積み、国内外で活躍する俳優への道の一步を踏み出します。今後の公演、そして活躍にもどうぞご期待ください。

新国立劇場演劇研修所ウェブサイト：<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>

<授業風景>



アクション



海外招聘講師 特別授業



戯曲を読む

演劇研修所修了生の出演情報：<https://www.nntt.jac.go.jp/play/training/graduate/info/>

【第20期生選考試験情報】

2024年4月入所の第20期生を以下の要領にて募集いたします。

研修期間：3年間（第20期生は2024年4月から2027年3月まで）

募集人数：16名程度

出願資格：①プロフェッショナルな俳優としての舞台活動を目指していること。

②高等学校卒業もしくは同等の資格を有すること。

③2024年4月1日時点で満18才以上、満30才以下であること。

④心身ともに健康であること。

⑤外国籍者の場合、日本語が理解できること。

および、研修期間中の日本国内滞在許可が取得できること。

選考試験日程

・第1次試験：2024年1月10日（水）、11日（木）のいずれか1日

・第2次試験：2024年1月13日（土）

・第3次試験：2024年1月14日（日）

出願期間：2023年11月20日（月）～12月15日（金）郵送必着

場 所：芸能花伝舎内新国立劇場演劇研修所（西新宿）

受験料：11,000円（税込） ※振込手数料はご負担ください。

詳細は、新国立劇場演劇研修所ウェブサイトからご覧ください。

<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/audition/>